

## 合同防災訓練を開催しました

11月12日(土)豊田小学校・地域「合同防災訓練」を3年振りに開催しました。午前8時のサイレンを皮切りに、9時からの安否確認訓練を行いその後、豊田小学校で防災役員、家庭防災員、組長、防災ボランティアの参加で訓練を開始しました。

(訓練内容)

住民の訓練は、①避難カード記入、②防災備蓄倉庫(備蓄品)の展示、③下水直結型トイレの組み立て、④水消火器による初期消火、⑤AEDを使用した心肺蘇生訓練しました。

小学生の訓練は、10時55分の「地震発生」の想定で開始。教室から校庭への避難訓練、その後小学校児童及び諸先生方、栄区担当職員、地域の対面式が行われました。1年生から4年生は備蓄庫備蓄品の見学、下水直結型トイレの見学、5年生は消防署員の指導により水消火器の初期消火訓練、6年生は消防団により、AEDを使用した心肺蘇生訓練を体験しました。

対面式のあとは、栄消防署豊田出張所職員による「ロープ救助デモンストレーション」が行われました。小学校の屋上に取り残された要救助者を背負いロープで下まで救助する際には、児童や地域の方から大きな声援があり、救助後には大きな拍手が湧きあがりました。

今回はタウンニュース、FM戸塚の生中継も実施され、緊張する一面もあり、いつもとはちょっぴり違う訓練が行われました。

ご協力頂きましたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

